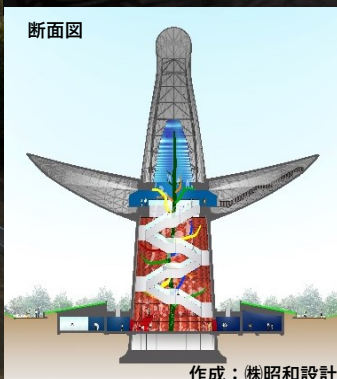
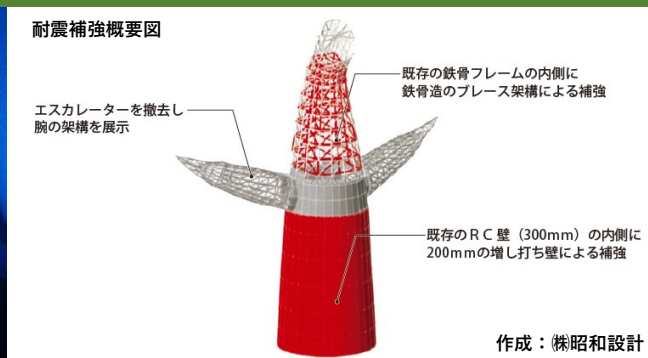


日本万国博覧会記念公園太陽の塔耐震改修工事



- 所在地 大阪府吹田市千里万博公園
- 敷地面積 1,291,667.41㎡
- 建築面積 1,031.76㎡
- 述べ床面積 1,858.77㎡
- 構造 RC造+SRC造+ショットクリート造
- 階数 地下1階地上2階
- 工事期間 平成28年11月～平成30年2月
- 設計 (株) 昭和設計
- 施工 (株) 大林組
- 請負金額 1,286,000千円

万国博覧会閉会后、「工作物」として保存された太陽の塔の内部を、48年ぶりに一般観覧できるように、耐震改修とそれに伴う内装改修を行いました。また、エントランスの新設と復元した「地底の太陽」の展示スペース増設のため、新たに1階部分に増築をしています。

外観、内観ともに万博当時の形状を維持し太陽の塔を再生させるため、内側にRC壁200mmの増し打ちとブレース架構の補強を行いました。老朽化したエスカレータを撤去し、新たに鉄骨階段に付替えることにより荷重の軽減を図りました。これにより、内部展示物「生命の樹」を時間をかけて鑑賞出来るようになりました。

太陽の塔を建築物とするため、避難安全規定及び構造規定に関する大臣認定を取得し、建築基準法の「展示場」として適合させました。

別途工事で「生命の樹」復元を並行して行い、万博当時の太陽の塔に再生させました。